

衣浦中学軟式野球交流会大会運営細則

□大会運営要項について

1. 大会の運営について（トーナメント・リーグ戦）参加チームによって本部役員で決定する。

- ①本大会のルールは、当該年度公認野球規則による。
- ②トーナメント・リーグ戦のイニング回数は7回とし、試合時間が1時間30分を超えた場合は次のイニングに進まない。
- ③同点の場合、④の特別ルールに従い勝敗を決定する。
- ④特別ルール

前回の最終打者を一塁走者とし、二塁、三塁の走者は、順次前の打者として、無死満塁の状態にする。1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。決勝戦のみ1イニングで勝敗が決しない場合は、もう1イニング行う。1イニング（決勝は2イニング）行っても勝敗が決しない場合は、最後に出場していた9名の抽選で決する。

⑤本大会での3位決定戦は行わず、2チームを3位とする。ただし、愛知県軟式野球クラブチーム選手権大会およびその他の大会予選を兼ねる場合は、3位以下の順位を得点差で決定する。（同順位の場合は抽選とする）

- ⑥本大会の優勝、準優勝、3位入賞チームおよび優秀選手を表彰する。
- ⑦本大会のコールドゲームは、日没・降雨等の場合は5回、得点の場合は3回10点、5回以降7点の差を生じた場合とする。
- ⑧日没・降雨等で試合が成立しなかった場合は後日、再試合とする。
- ⑨試合球は、全日本軟式野球連盟公認球（マルエスM）球とする。
- ⑩チーム登録は、監督1名、コーチ2名（両者二十歳以上）選手は各中学在籍の18名、スコアラー・補助員（マネージャー）、各1名とする。複数登録するチームの監督、コーチは、重複登録も可とする。
- ⑪大会参加費用は、各大会規模、参加チーム数等を考慮し全体会および事務局会議で決定する。

《その他、衣浦中学軟式野球交流会大会の注意事項》

1. 試合会場は、原則各チームのグラウンドおよび公営球場とする。
2. 選手はスパイクまたは運動靴を使用し、同一のユニホーム（アンダーシャツも含む）を着用する。また、スパイクは金属の装着（つめ）、金属製のポイントの装着されたものの使用も可とする。スネの保護にならないストッキングは着用しない。
3. 背番号は、登録されたナンバーをつける。
4. 審判員により、試合前にバット・ヘルメットその他用具の点検を行う。
5. 捕手は、マスク・プロテクター・レガース・キャッチャーヘルメット・ファールカッ プを着用する。
6. ベンチ内は、⑪および、各チーム所属の選手とする。ただし、選手登録された選手以外は、背番号をつけてはならない。服装は同一ユニホーム、練習着、体操服、学生服 以外は認めない。（監督、コーチも同一ユニホームを着用すること）
7. 球場特別ルールとして、球場内外境界線を踏み越えての捕球は認めない。
8. 各チームは、会場に試合開始1時間前に到着し、30分前には、メンバー表（3部）を主審に提出するとともに、先攻・後攻を主将のジャンケンで決定する。
9. ベンチは若番のチームを一塁側とする。

- 10.試合会場内外を問わず、鳴り物の応援を禁ずる。ただし、監督、コーチに限りメガホンの使用は認める。
- 11.ノックは、後攻側から始めて7分以内とし、登録メンバーで行う。また、補助員に手伝わせてもよい。ただし、天候、試合の進行状況によっては、ノックを行わない場合もある。（各大会毎に規定し、衣浦交流大会は原則ノックは行わない）
- 12.投球練習は、原則として、初回および交代時は7球、イニングの始めは3球とする。
- 13.試合中のファールボールは、ホームベースを中心にベンチ側で拾い、主審に届ける。
- 14.次打者は、低い姿勢で、ネクストバッターサークル内で待つ。
- 15.コーチボックスに位置するコーチャーは、登録された選手とする。
- 16.投手は、投手板に触れた状態で捕手のサインを受ける。また、同一日に二試合を行う場合はイニング数を1日7イニングまでとする。ただし、特別ルールでのイニングは除くものとする。その他の試合については1日7イニングまでの投球回数となるよう努力義務を課す。
- 17.攻守交代時は、駆け足で行い、試合球は投手板に置く。
- 18.試合開始時刻に無届けでの未着の場合は、試合を放棄したものとみなし、対戦チームの不戦勝とする。
- 19.バットは、全日本軟式野球連盟が公認したもののみを使用することができる。
- 20.天候、グラウンドコンディション等により、試合を中止または試合開始時間、試合場所を変更する決定は試合開始2時間前に各グラウンド責任者で決定し、審判、当該チームに連絡する。
- 21.トーナメント戦の試合会場づくりは、参加チームが協力して行う。
- 22.トーナメント戦において試合が中止になった場合は、大会本部で日程を調整し、決定しだい、大会本部が当該チーム代表者、審判員に報告する。
- 23.試合中の傷害については、各チームで責任をもって対応する。
- 24.各チームの移動については、各チームで責任をもって、安全な移動に心がける。
- 25.トーナメント戦の審判員は、交流会加盟各チーム指導者、愛知県軟式野球連盟登録審判員、選手の保護者および該当試合の選手とする。ただし、主審については当該チーム以外の交流会加盟指導者、軟野連審判が行う。
- 26.審判の判定に対する抗議は一切認めない。ただし、判定に関する確認は主審の了解を得たうえで監督のみ受け付ける。
- 27.責任審判・当該審判および本部との競技による裁定には、必ず従うこと。
- 28.交流会役員の中から責任審判（審判部長）を任命し、審判の運営にあたる。
- 29.その他の事項については、交流会会則に則り全体会および事務局会議で協議決定する。